

第2期

白河市みらい創造総合戦略

令和2年3月 初版

白 河 市

目 次

1 基本的な考え方	1
(1) 人口減少と地域経済縮小の抑制	1
(2) 「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立	2
2 政策の企画・実行に当たっての基本方針	4
(1) 「まち・ひと・しごと」創生政策5原則	4
(2) 白河市第2次総合計画との関係	4
(3) 取組体制とPDCAの整備	5
3 基本目標及び施策の方向性	7
I 魅力ある雇用をつくる	7
施策1 地域企業への支援強化と企業誘致の推進	7
施策2 若者の地元定着の推進	9
施策3 白河の強みを発揮した新たな産業の創出	10
施策4 農業の魅力向上による雇用の場の創出	11
II 若い世代の活躍を支える	13
施策1 ニーズを捉えた婚活支援	13
施策2 出産・子育てしやすい環境の整備	14
施策3 社会を生き抜く力を育む教育の充実	16
III 人と地域のつながりをつくる	18
施策1 地域資源を活用した観光の振興	18
施策2 移住・定住の促進	19
施策3 戦略的なシティプロモーションの展開	20
施策4 市民協働の推進と外部人材の積極的活用	21
施策5 誰もが活躍できる地域社会の実現	22

1 基本的な考え方

(1) 人口減少と地域経済縮小の抑制

「白河市人口ビジョン」^(※1)で示したとおり、白河市の人口は、平成 12 年（2000 年）の 66,048 人をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所の推計を参考にすると令和 42 年（2060 年）には 33,845 人程度にまで減少すると予測されます。

人口減少が地域経済に与える影響として、消費市場の規模縮小や労働力不足といったものが考えられ、こうした地域経済の縮小が、さらに人口減少を加速させるという負のスパイラル（悪循環の連鎖）をもたらすことから、市民の経済力の低下につながり、また、地域社会の様々な基盤の維持を困難にするとされています。

このことから、人口減少を抑制し、将来にわたり持続可能な地域社会を維持していくため、以下の 2 つの基本的視点に立ち、行政と市民、各団体が問題意識を共有し、その構造的課題の解決に向け一体となって取り組むことが重要です。

① 適正な人口バランスに配慮した人口減少対策

将来にわたり持続可能な地域社会を維持していくためには、一定の人口規模と幼・壮・老の適正な人口バランスを維持・確保していくことが重要です。

そのため、他地域への人口流出をできる限り抑制するとともに、本市から進学・就職により転出した若者の回帰や、首都圏在住者の転入を促します。

② 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望を実現

人口減少を抑制していくためには、若い世代が安定的に就労し、安心して希望に沿った結婚・出産・子育てのできる環境を実現していくことが重要です。

そのため、産業の振興を図ることで安定した質の高い魅力ある雇用を創出・確保します。

人口減少は今に始まったものではなく、過剰に反応する必要はありません。

しかしながら、人口減少は社会保障や都市基盤の在り方など多方面に影響を及ぼすことから、この問題と向き合い、データに基づき的確な対策を講じることで、本市の地方創生を実現していく必要があります。

※1) 白河市人口ビジョン：本市の人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の意識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示したものの。

(2)「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立

地方創生の実現には、地域の担い手となる「ひと」と、人々の生活を支える「しごと」の確保が最も重要です。

本市は、地域産業全体の底上げによる安定した魅力ある「しごと」の確保を最優先課題として取り組むことにより人材の市外流出を抑制するとともに、地域に愛着と誇りを持った人材の育成と市民主体のまちづくりを進めることで地域の魅力と品格を高め、本市への人の流れを確かなものにしていきます。

そのため、本市が持つ豊富な自然・歴史・文化に加え、東北自動車道や東北新幹線などの恵まれた高速交通体系、首都圏に隣接する地理的優位性などの資源を生かしながら、以下に示すような、まち・ひと・しごとの創生に一体的に取り組み、「ひと」が「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び・育てることで、「まち」が活性化し、「ひと」が集まるといった好循環を確立し、人々が安心して生活を営み、子どもを生み育てられる社会環境を整えていきます。

① しごとの創生

地元企業の経営基盤の強化や生産性の向上に加え、企業誘致を推進することで、「相応の賃金」＋「安定した雇用形態」＋「やりがい」といった、誰もが安心して働くことができる質の高い魅力ある雇用の創出・確保に努めます。

また、企業間や異業種間の連携推進、高付加価値商品の開発、事業承継の円滑化、新規創業の支援など、地域経済に新たな価値を生み出す取組を積極的に推進します。

② ひとの創生

未来を担う子どもたちが基本的な学習だけでなく本市が持つ自然や歴史、伝統・文化、食などの魅力を学び、教え伝えることや、地域との関わりを深めることで、郷土への愛着と誇りを持った人材を育み、若者の定着や回帰につなげていきます。

また、「ひと」と「ひと」の「つながり」の重要性を再認識し、多様な価値観を互いが認め、助け合い、共存できる環境を整えることで、地域の中で誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる社会の実現を図ります。

③ まちの創生

市民が主体となったまちづくりを進めることで、個性的で活気と活力に満ちた地域社会の実現を図ります。

また、都市機能の集積や既存ストック^(※2)の有効活用、拠点間を有機的に結ぶネットワークの再構築、圏域を越えた広域的な機能連携などに取り組むとともに、「持続可能な開発目標 (SDGs)^(※3)」の考え方を取り入れ、中長期的視点に立った持続的で住みやすいまちづくりを進めます。

※2) 既存ストック：これまでに整備された基盤施設や公共施設、建築物等のこと。

※3) 持続可能な開発目標（SDGs）：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までの国際目標。17の大きな目標とそれを達成するための169の具体的なターゲットで構成されている。

2 政策の企画・実行に当たっての基本方針

(1) 「まち・ひと・しごと」創生政策5原則

本市は、人口減少と地域経済縮小を抑制し、地方創生を確実に実現していくため、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられている「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえ、次の5つの政策原則に基づき関連施策を展開していきます。

① 自立性

地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。

② 将来性

一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって構造的な問題の解決に積極的に取り組む。

③ 地域性

地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を自主的かつ主体的に取り組む。

④ 総合性

多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的に施策を推進することにより、施策の効果をより高める。また、限られた財源や時間の中で最大限の成果を発揮する施策に取り組む。

⑤ 結果重視

施策の結果を重視するため、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組むとともに、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行うなどPDCAメカニズムを明確に機能させる。

(2) 白河市第2次総合計画との関係

本戦略は「白河市第2次総合計画」をベースに、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び福島県の第2期「ふくしま創生総合戦略」を踏まえ、本市の人口減少と地域経済縮小に対応するため、今後5年間で集中して取り組む施策及びその方向性を示したものです。

なお、本戦略に基づく具体的な事業については、総合計画に基づき毎年策定する実施計画により明らかにしていきます。

白河市第2次総合計画（平成25年3月策定）

人口減少や少子高齢化など、地方を取り巻く環境の目まぐるしい変化に的確に対応するため、行政運営のビジョンと政策を総合的に明示した本市の最上位計画

(3) 取組体制とPDCAの整備

「まち・ひと・しごと」の一体的な創生を図っていくためには、地域を担う市民と産官学金労言士^(※4)の各機関が問題意識を共有し、自らの知恵と責任を持って課題解決に取り組んでいかなければなりません。

また、限られた時間や財源の中で最大の成果を上げるために、本市の実態分析を的確に行うとともに、客観的指標に基づく効果の検証と中長期的な視野に立った改善を図るための仕組みを構築することが重要です。

このことから、本市の人口の中長期展望を示した「白河市人口ビジョン」を踏まえ、本戦略において今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すとともに、データに基づく政策効果の検証と改善を図るPDCAサイクルを確立し、適切な進行管理に努めます。

① 目標の設定

政策ごとに設定する目標は、2024年（令和6年）度において実現すべき成果（アウトカム^(※5)）を重視した「数値目標」を設定するものとします。

また、「数値目標」の実現に向けて取り組む施策については、その効果を客観的に検証できる重要業績評価指標（KPI）^(※6)を設定します。

② 進行管理

本戦略の進行管理は、産官学金労言士の有識者等で構成される「白河市みらい創造推進会議」（以下「推進会議」という。）において行います。結果重視の視点に立って、「基本目標」の達成状況や各施策の取組内容について数値目標と各施策のKPI等により点検・評価します。

その結果、目標とした成果を下回る施策等については、推進会議の意見を踏まえ適切な改善を図ることとします。

③ フォローアップ

本戦略は、この初版を基本に、「しらかわ地域定住自立圏共生ビジョン」^(※7)との整合性を図りながら広域的な連携を進めるとともに、国が開発した「地域経済分析システム（RESAS）」^(※8)等による分析内容を加味するなど、随時、必要な見直しを行っていきます。

※4) 産官学金労言士：（産）産業界、（官）地方公共団体や国の関係機関、（学）大学等の高等教育機関、（金）金融機関、（労）労働団体、（言）メディア、（士）弁護士等

※5) アウトカム：結果、成果。行政活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされた便益をいう。

※6) 重要業績評価指標（KPI）：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。（Key Performance Indicator の略称）

※7) しらかわ地域定住自立圏第2期共生ビジョン：生活圏や経済圏をともにする県南9市町村が、相互に役割を分担して連携・協力を図り、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、住民が安心して暮らし続けることができる圏域を形成するために締結した「しらかわ地域定住自立圏形成協定」に基づき推進する具体的な取組を記載したもの。

※8) 地域経済分析システム（RESAS^{リ-サ-ス}）：内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）及び経済産業省によって公開された情報提供システムのこと。企業間取引や地域における人の流れ、人口動態などに関する客観的・中立的なデータをグラフや地図などで可視化したもの。

3 基本目標及び施策の方向性

「白河市人口ビジョン」を踏まえ、人口減少と地域経済縮小を抑制し、「まち・ひと・しごと」の好循環を確立するため、本市の「基本目標」及び「具体的な施策の基本的方向性等」を以下のとおりとします。

基本目標

I 魅力ある雇用をつくる

基本的方向性

地元企業の経営基盤の強化や生産性の向上に加え、企業誘致を推進することで、「相応の賃金」＋「安定した雇用形態」＋「やりがい」といった、質の高い雇用の創出・確保に努めます。

また、企業間連携や異業種間連携の推進、高付加価値商品の開発、事業承継の円滑化、新規創業の支援など、地域経済に新たな価値を生み出す取組を積極的に推進します。

そして、本市で暮らす全ての方、特に若者や女性が安心して働くことができる魅力ある雇用を創出します。

数 値 目 標	基準値（年度）	目標値（R6）
製造品出荷額（年間）	3,152 億円（H29）	3,100 億円
従業者数（6月1日現在）	7,830 人（H30）	7,800 人

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（1）地域企業への支援強化と企業誘致の推進

本市を含む県南地域に安定した雇用を創出するため、地域企業の活性化を支援する産業サポート白河^(※9)や商工会議所・商工会、金融機関などと連携しながら、各企業の経営改善や就労環境の向上などに繋がる取組を積極的に支援するとともに、新規企業の誘致や既存企業の規模拡大に対する支援を推進します。

また、産業振興を担う人材を創出するため、若手経営者の育成や企業在職者のスキルアップ、AI・IoT人材の育成を図るとともに、地域産業を支える技術やノウハウなど、優れた経営資源を有する企業が円滑に事業承継できるよう、後継者等の育成・発掘を支援します。

具体的な施策		主な担当部署
○支援機関と連携した地域中小企業の支援強化		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
産業サポート白河による取引あつせん相談件数 (累計)	56 件 (H30)	206 件

- ・産業サポート白河との連携によるきめ細やかな経営相談
- ・中小企業の基盤強化のための資金的支援 (信用保証料の補助や利子補給等)
- ・新規事業開拓や販路拡大のための見本市等への出展支援
- ・就労環境の向上に関するセミナー等の開催

具体的な施策		主な担当部署
○新規企業の誘致の推進及び既存企業の規模拡大に対する支援		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
新規企業の誘致による新規雇用者数及び既存企業の増設による雇用者数 (累計)	159 人 (H30)	309 人

- ・新規企業等への立地意向調査の実施
- ・既存企業の増設計画支援
- ・市内工業団地等への企業誘致
- ・企業立地促進のための奨励金制度による支援

具体的な施策		主な担当部署
○人材育成のための各種講習会の開催		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
スキルアップ講習会等の参加者数 (年間)	198 人 (H30)	218 人

- ・ものづくり技術講習会の開催
- ・若手経営者育成事業の開催
- ・AI・IoT 人材育成事業の開催
- ・大学等と連携した人材育成
- ・事業継承に関するセミナー等の実施支援

(2) 若者の地元定着の推進

小中高生を対象に地域の実情に応じたキャリア教育^(※10)を行うことで、地元企業への理解を深め、地域産業の担い手としての職業観等を養うとともに、将来、社会的・職業的に自立し、地域社会における自分の役割を自覚しながら、自分らしい生き方を実現できる人材の育成を図ります。

また、市内の小中高生や本市を離れ大都市圏等に進学・就職した若者に対し、地元企業的情報を発信する仕組みを構築するとともに、インターンシップによる就業体験機会を確保するなど、地元企業に対する関心や生まれ育った土地で働く意欲を高める取組を進めます。

さらに、大都市圏等からの UIJ ターン希望者の就職活動を支援します。

具体的な施策		主な担当部署
○小中高生を対象としたキャリア教育		学校教育課 商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
キャリア・パスポート ^(※11) の作成及び活用率	0% ※令和2年度から新設	100%

- ・職業体験や職場体験の実施
- ・キャリア・パスポートの活用

具体的な施策		主な担当部署
○地元の企業情報等を発信する仕組みの構築		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
しらかわ企業データベースの閲覧数 (年間)	165,798 件 (H30)	181,500 件

- ・産業サポート白河のホームページの充実
- ・SNS 等を活用した情報発信
- ・白河企業データベースを活用した情報発信
- ・地域版就職情報冊子等の作成・配布

具体的な施策		主な担当部署
○地元企業インターンシップ事業等の実施		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
インターンシップ等実施企業数 (年間)	47 社 (H30)	53 社

- ・就職セミナーやインターンシップの情報発信

- ・インターンシップ実施の推進
- ・就職を希望する高校生等を対象とした地元企業の展示交流会の開催

具体的な施策		主な担当部署
○UIJ ターン希望者への就職活動支援		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
白河UターンLINEアカウントの登録者 (累計)	180人 (R1)	1,080人

- ・SNS等を活用したUIJターン希望者への情報発信
- ・UIJターン希望者への交通費の補助

(3) 白河の強みを発揮した新たな産業の創出

本市の地理的優位性や地域資源を生かし、企業間・異業種間で連携して行う新製品や新技術の開発など、地域に新たな付加価値を創造する取組や福島イノベーション・コースト構想への参入、知的財産の活用を支援するとともに、多様な働き方ができるよう、テレワーク等の普及に取り組みます。

また、農業や商業、工業などのあらゆる分野において「地産地消」を推進するなど、地域内で経済が循環する取組や、地域産業の新たな展開に繋がる新規創業・起業や地域社会の課題解決に向けたソーシャルビジネス^(※12)の立ち上げなどを商工会議所・商工会や金融機関などの各支援機関と連携しながら支援するとともに、Society5.0^(※13)の実現に向けた取組を推進します。

具体的な施策		主な担当部署
○企業のグループ化や新商品等の開発、新分野への参入支援		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
企業間・異業種間連携による新商品等開発件数 (累計)	0件 (H30)	5件

- ・企業間を連携するための支援
- ・産学官連携によるネットワークの形成
- ・事業継承を機会に第二創業するために必要となる経費の一部を支援

具体的な施策		主な担当部署
○知的財産の活用支援		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
知的財産・特許権等取得の支援件数 (累計)	0件 (H30)	2件

- ・知的財産の必要性や活用法に関するセミナー等の実施
- ・知的財産に関する支援機関と連携した企業への支援

具体的な施策		主な担当部署
○新規創業・起業に対する切れ目のない支援体制の構築		商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
各種創業支援事業による創業件数 (累計)	8 件 (H30)	18 件

- ・創業・起業に関する必要な知見を身に付ける講座等の開催
- ・創業・起業に対する各種融資制度における信用保証料等の支援
- ・創業・起業に対する場所の提供及び伴走型支援
- ・テレワーク等の導入推進支援

(4) 農業の魅力向上による雇用の場の創出

農畜産物のブランド化や6次産業化^(※14)、経営規模の拡大を促進するとともに、教育・研究機関等と連携した品種改良、効果的・効率的な栽培技術の普及促進などにより、農業の収益性向上を図ります。

また、農業のイメージ改善に加え、農業参入の手順や経営のノウハウなど、就農に必要な支援を行うとともに、農業法人の設立支援や誘致を行うことで、若者や女性の農業参画意欲を促進し、就農機会の拡大を図ります。

具体的な施策		主な担当部署
○基幹的農業従事者・集落営農組織の法人化への支援や農業法人誘致の推進		農政課 農林整備課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
農業法人数 (累計)	24 法人 (H30)	27 法人

- ・規模拡大を図る事業者等に対する営農継続のための支援
- ・農業法人参入のための総合的な支援

具体的な施策		主な担当部署
○若者や女性、UIJ ターン希望者の就農支援		商工課 農政課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
新規就農者数 (累計)	3 人 (H30)	21 人

- ・首都圏等における農業の魅力発信や農業体験事業の開催
- ・新規就農者への相談体制の充実
- ・新規就農者の経営安定及び施設・機械等への資金的補助

具体的な施策		主な担当部署
○農畜産物の6次産業化の取組への支援		農政課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
支援制度を活用した6次産業化商品数 (累計)	3件 (H30)	21件

- ・6次産業に係る研修会等の開催
- ・新商品の事業化及び販路拡大に係る支援
- ・生活・交流拠点施設等における6次化商品の販路確保

-
- ※9) 産業サポート白河：白河地域の産業の振興を図るため、H20年に白河商工会議所、表郷・大信・ひがし商工会のほか経済団体が発起人となり任意団体として設立し、H21年4月に一般社団法人へ移行した産業支援機関。企業訪問による情報の収集・提供、経営相談、取引あっせん、人材育成、産学官連携や起業家支援など地域企業の支援などを行っている。
- ※10) キャリア教育：望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育のこと。
- ※11) キャリア・パスポート：児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。
- ※12) ソーシャルビジネス：環境保護や高齢者・障がい者の介護・福祉、子育て支援、まちづくり、観光等に至る多種多様な社会課題について、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法で解決していく取組みのこと。
- ※13) Society5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもの。
- ※14) 6次産業化：農山漁村が生産（第1次産業）だけでなく、加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）にも主体的・総合的に関わり合うことで付加価値の向上・創造を図り、農林水産業の活性化につなげる取組みのこと。

基本目標

II 若い世代の活躍を支える

基本的方向性

生活を支える「しごと」の確保とともに、未来を担う子どもたちが、基本的な学習や本市が持つ歴史や伝統・文化、自然、食などの魅力を学び、地域との関わりを深めることで、地域への愛着と誇りを持った人材を育み、若者の定着や回帰につなげていきます。

また、「ひと」と「ひと」の「つながり」の重要性を再認識し、多様な価値観を互いが認め、助け合い、共存できる環境を整えることで、地域の中で誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる社会の実現を図ります。

さらに、家族構成の変化や共働きの増加など、多様化するライフスタイルに対応することで、若い世代の活躍を支えます。

数 値 目 標	基準値（年度）	目標値（R6）
年間出生数	435 人（H30）	435 人
18 歳～39 歳人口（10 月 1 日現在）	13,797 人（R1）	13,383 人

※出生数は「年」単位とする。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（1）ニーズを捉えた婚活支援

結婚生活を支える安定した質の高い魅力ある雇用の創出・確保を図るとともに、しらかわ地域定住自立圏の構成町村と連携し、出逢いの場の創出や結婚に関する各種セミナーを開催するなど、婚活支援を推進します。

また、福島県と連携し、結婚に対する不安や悩みを相談できる支援者の育成を図るなど、結婚しやすい環境を整えるための側面的支援を行います。

具体的な施策		主な担当部署
○出逢いふれあい事業の充実・発展		生活防災課
重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（R6）
出逢いの場創出事業の参加者数（年間）	242 人（H30）	270 人

- ・ 出逢いの場の提供
- ・ 結婚意識形成セミナー等の開催

具体的な施策		主な担当部署
○婚活支援体制の充実		生活防災課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
婚活支援者数 (累計)	9人 (R1)	14人

- ・結婚に対する相談を受けられる人材の育成

(2) 出産・子育てしやすい環境の整備

核家族化の進行や地域の繋がり希薄化により、身近に相談できる人がいない妊産婦や子育て中の親が孤独感や不安感を抱くことがないように、気軽に集え相談できる環境の充実・強化を図るとともに、様々な子育て関連情報の発信や出産・子育て関連知識の普及啓発に取り組みます。

また、幼稚園・保育園・学校以外でも子どもたちが安心して過ごせる場を確保するとともに、企業を含めた地域が積極的に子育てに関わる雰囲気醸成するなど、地域社会全体で子育てをサポートする環境整備に取り組みます。

さらに、保育サービスの充実や男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス^(※15)の推進等により男性の育児参加を促すことで女性の社会進出を推進するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減についても、国や県と連携を図りながら効果的な方策を実行していきます。

具体的な施策		主な担当部署
○出産・子育てに関する相談体制の強化		こども支援課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
白河っ子応援センターの利用者数 (年間)	1,254人 (H30)	1,200人

- ・白河っ子応援センターの相談体制の充実
- ・訪問型の子育て支援の実施
- ・宿泊や日帰りによる産後ケアの実施

具体的な施策		主な担当部署
○出産・子育てに関する正しい知識等の普及啓発		こども支援課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
子育てに関する講座への参加者数	235人 (H30)	230人
子育て支援アプリ登録者数 (累計)	1,419人 (H30)	3,220人

- ・子育てに関する講座等の開催

- ・子育て支援ガイドブックの作成
- ・子育て支援アプリによる迅速な情報発信
- ・乳幼児の発達の節目における健診の実施

具体的な施策		主な担当部署
○地域社会全体での子育て支援環境の充実		こども支援課 生涯学習スポーツ課 商工課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
地域子育て支援拠点の利用者数 (年間)	14,803 人 (H30)	14,736 人
男女共同参画講演会等の参加者数 (年間)	42 人 (R1)	130 名
ワーク・ライフ・バランスを推進する企業数 (累計)	1 社 (H30)	6 社

- ・ファミリーサポート事業の実施
- ・地域子育て支援拠点事業の実施
- ・男性の育児参加を促すセミナー等の開催
- ・子育て世帯の負担に対する経済的支援
- ・男女共同参画セミナーの開催
- ・企業へのワーク・ライフ・バランス推進に対する支援

具体的な施策		主な担当部署
○保育サービス等の充実による子育て世帯の就労支援		こども育成課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
保育園待機児童数 (年度当初)	16 人 (H31)	0 人

- ・幼稚園や保育園等の新設・増設等
- ・保育士等の確保
- ・児童クラブ等の受け入れ拡大
- ・病児保育の実施

(3) 社会を生き抜く力を育む教育の充実

未来を担う子どもたちが希望に満ちた夢や目標を抱けるようにするため、グローバル化や情報化の進展等、社会情勢が日々変化し続けている中で、時代を切り拓いていくことのできる学力や道徳性、対応力など社会を生き抜く総合的な「人間力」を高める取組を推進します。

図書館等を中心とした読書活動や実践的な英語教育、ICT教育^(※16)の推進に加え、子どもたちが集団の中でより良い学びを展開できる環境やスポーツを楽しむ機会を確保することで、コミュニケーション能力や連帯感、協調性を育むとともに健全な心身の育成を図ります。

また、本市の歴史や文化に触れ、学ぶことにより、豊かな感性を育み、郷土を愛する心と誇りを醸成します。

具体的な施策		主な担当部署
○図書館の有効活用による読書活動の推進		学校教育課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
学校図書貸出冊数 (小学校)	119,782 冊 (H30)	120,000 冊
学校図書貸出冊数 (中学校)	3,671 冊 (H30)	15,000 冊

- ・市立図書館の図書の実施
- ・市立図書館と連携した学校図書館の実施
- ・学校図書館における司書の配置

具体的な施策		主な担当部署
○確かな学力の向上		学校教育課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
全国学力・学習調査の正答率(全国平均を上回った教科) (小学校) : 国語、算数、理科 ※理科は3年ごとの実施	1教科 (R1)	全ての教科
全国学力・学習調査の正答率(全国平均を上回った教科) (中学校) : 国語、数学、理科、英語 ※理科、英語は3年ごとの実施	1教科 (R1)	全ての教科

- ・個に応じた学習指導の実施
- ・外国人英語指導助手による国際理解教育の実施
- ・ICT教育環境の整備
- ・ICT専門支援員による情報化社会対応のための教育の実施

- ・土曜学習の実施
- ・特別支援教育支援員による学習指導の実施

具体的な施策		主な担当部署
○子どもを健全に育むスポーツの振興		生涯学習スポーツ課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
白河市スポーツ少年団の団員数	856名 (H30)	780名
スポーツ教室の参加者(小中生)(年間)	6,060名 (H30)	5,500名

- ・小・中学生が各種大会等への参加する際の経済的支援
- ・スポーツ団体に対する支援
- ・スポーツに関する講演会等の実施

具体的な施策		主な担当部署
○地域への愛着と誇りを育む教育の推進		学校教育課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
児童生徒へのアンケート結果の割合 ①白河の歴史や文化に関することをもっと知りたい、調べたい ②ふるさと白河のすばらしさを感じるようになった	小学校6年 ①77% ②89% 中学校3年 ①84% ②88% (H27)	①80%以上 ②90%以上

- ・白河の歴史文化の知識を学ぶ授業の実施
- ・歴史教科書「れきしら」の活用

具体的な施策		主な担当部署
○文化・芸術活動の奨励		文化振興課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
文化団体に所属している児童・生徒数(累計)	58人 (H31)	358人

- ・コミネスと連携した文化活動の実施
- ・文化活動を行う団体等への補助
- ・音楽・芸術等の発表に関する場の提供

-
- ※15) ワーク・ライフ・バランス：男女がともに仕事と家庭生活の両立ができ、家庭・地域・職場において充実した生き方ができること。
- ※16) ICT教育：情報通信技術（Information and Communication Technology）の利用や活用方法を取り入れた教育のこと。また、ICTを駆使した教育のこと。

基本目標

Ⅲ 人と地域のつながりをつくる

基本的方向性

「しごと」と「ひと」の創生を図るとともに、市民が主体となったまちづくりを進めることで、個性的で活気と活力に満ちた地域社会の実現を図ります。

そして、本市の知名度・認知度アップや観光振興による交流人口や関係人口^(※17)の増加を図るとともに、大都市（特に首都圏）に在住する移住希望者等に対し本市の魅力を積極的に発信することで、人と地域のつながりをつくります。

数 値 目 標	基準値（年度）	目標値（R6）
現住人口（10月1日現在）	59,739人（R1）	57,836人

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（1）地域資源を活用した観光の振興

小峰城や南湖公園、白河関などの足元にある観光資源の魅力掘り下げるとともに、ゴルフ場や白河ラーメンなどの地域資源と有機的に結び付けるなど、本市が有する自然や歴史、伝統・文化、食を最大限に生かした着地型観光^(※18)の推進を図ります。

また、インバウンド^(※19)など新たな層の観光誘客を促す積極的かつ効果的な情報発信に努めるとともに、わかりやすい観光案内看板や公共 Wi-Fi など滞留・滞在時間の延長に繋がる環境を整備することで、本市を訪れた方の満足度を高める受入体制を整えます。

さらに官民一体となり観光を通して地域をマネジメントする仕組みを推進することで、交流人口の増加を図ります。

具体的な施策		主な担当部署
○着地型観光の推進		観光課
重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（R6）
観光入込客数（主要観光施設）	885,260人（H30）	950,000人

- ・白河観光物産協会と連携した、観光情報の発信強化や観光ルートの開発
- ・観光施設への公共 Wi-Fi の整備
- ・フィルムコミッションによる誘客

具体的な施策		主な担当部署
○インバウンドの推進		観光課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
外国人観光客数 (年間)	1,479 人 (H30)	4,500 人

- ・アジア圏をターゲットとした PR 活動の実施
- ・モニターツアー等の実施
- ・観光に関する多言語化した情報発信

具体的な施策		主な担当部署
○観光プロモーションの実施等による効果的な情報発信		観光課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
公式インスタグラムのフォロワー数 (累計)	230 人 (R1)	1,750 人

- ・首都圏等大都市に対する観光 PR の実施
- ・地域イベント情報の積極的発信

(2) 移住・定住の促進

移住・定住に必要な、本市の就労や住環境、生活の利便性などの情報を一元的に管理・発信するとともに、相談できる体制の整備を図ります。

また、本格的な移住に繋げるグリーンツーリズム^(※20)やお試し居住などを実施することにより、潜在的な需要を掘り起こすとともに、空き家等の有効活用による移住費用の負担軽減に取り組むことで大都市（特に首都圏）からの移住・定住を促進します。

具体的な施策		主な担当部署
○移住・定住支援制度の充実		企画政策課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
支援制度を利用した移住・定住者数 (累計)	72 人 (H30)	572 人

- ・移住・定住に対する相談体制の整備
- ・空き家バンク等による住宅情報の発信
- ・移住者に対する経済的支援
- ・地域生活情報の発信強化

具体的な施策		主な担当部署
○地域資源を生かした滞在型の交流・体験活動の推進		企画政策課 農政課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
交流・体験活動の参加者数 (累計)	20 人 (R1)	95 人

- ・ NPO 等移住支援組織と連携した、滞在型活動の開催
- ・ 体験型農業の開催

(3) 戦略的なシティプロモーションの展開

地域に活気をもたらす交流人口や定住人口を増やしていくため、様々な媒体で本市の情報をわかりやすく発信することに加え、対象を明確にした戦略的なシティプロモーション^(※2)を展開し、本市の認知度向上を図ります。

広報紙や市のホームページにおいて情報を正確に周知するとともに、SNS や動画配信サイトなどの消費者発信型のメディアを利用し、市民や観光客などを巻き込んだ「オール白河」体制による情報発信を展開します。

あわせて、新聞やテレビなどのマスメディアを活用した情報発信の充実を図ります。

具体的な施策		主な担当部署
○わかりやすい広報紙の作成及びホームページの内容の充実		秘書広報課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
ホームページの閲覧数 (年間)	2,880,000 件 (R1)	2,970,000 件

- ・ 広報誌の内容の充実
- ・ 市政情報のホームページへの掲載

具体的な施策		主な担当部署
○市民や観光客などが情報発信の主体となる仕組みの構築		秘書広報課 観光課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
公式 SNS のファン数 (累計)	2,806 人 (R1)	2,900 人

- ・ シティプロモーションに関する情報の共有化
- ・ 公式 SNS を活用した各種情報の定期的発信

具体的な施策		主な担当部署
○新聞社やテレビ局へのプレスリリースの充実		秘書広報課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
プレスリリース数 (年間)	295 件 (H30)	325 件

- ・各課による事業開催等におけるプレスリリースの実施

(4) 市民協働の推進と外部人材の積極的活用
<p>多様化・高度化する市民ニーズや地域課題に的確に対応していくため、町内会やNPO等と連携し、その知識やノウハウ、豊かな発想などを積極的に取り入れるとともに、地域の特性や実情に応じ、市民やNPO等の様々な主体が行う地域の課題解決に向けた自主的な活動や地域コミュニティを支える仕組みづくりを積極的に支援します。</p> <p>また、専門的知識を有する企業人や、本市の地域活性化に意欲を持つ都市住民等の外部人材との協働による地域おこしを積極的に推進するとともに、白河のファン（関係人口）を増やしていきます。</p>

具体的な施策		主な担当部署
○NPO等民間が行う地域課題解決への支援		生活防災課 企画政策課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
補助金等による支援件数 (累計)	14 件 (H30)	104 件

- ・市民やNPO等民間が行う課題解決事業への支援
- ・市内の活性化に繋がる事業への支援

具体的な施策		主な担当部署
○若者の地域活動への参画推進		企画政策課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
コミュニティスペースの学生会員数 (累計)	1,261 人 (H30)	2,500 人

- ・若者の集う場の提供
- ・若者の集う場の活動支援
- ・若者が行う活性化事業への支援

具体的な施策		主な担当部署
○外部人材の積極的活用		企画政策課 総務課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
外部人材の受入件数 (累計)	5 人 (H30)	12 人

- ・地域おこし協力隊の募集
- ・地域おこし協力隊の活動支援
- ・企業人材の活用

具体的な施策		主な担当部署
○白河のファン (関係人口) の獲得		企画政策課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
公式 SNS のファン数 (累計) 【再掲】	2,806 人 (R1)	2,900 人

- ・公式 SNS を活用した各種情報の定期的発信 【再掲】
- ・ふるさと納税の充実

(5) 誰もが活躍できる地域社会の実現

女性、高齢者、障がい者、外国人などが相談しやすい体制の構築に取り組むとともに、仕事や生涯学習など地域活動への参加を促し、あわせて公共交通の充実に取り組むことで、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現を目指します。

また、誰もが健康に生活できるよう医療機関や企業と連携し、健康づくりの意識の向上や健康寿命の延伸を図ります。

具体的な施策		主な担当部署
○誰もが利用できる相談体制や居場所の整備		社会福祉課 生活防災課 生涯学習スポーツ課 企画政策課
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (年度)	目標値 (R6)
誰もが利用できる居場所の数	0 件 (H30)	1 件 (R6)

- ・誰もが相談できる体制の整備
- ・誰もが利用できる居場所の整備
- ・公民館機能の充実

具体的な施策		主な担当部署
○健康づくりの意識の向上と健康寿命の延伸		健康増進課
重要業績評価指標（KPI）	基準値（年度）	目標値（R6）
生活習慣病予防健診の受診率	43.8%（H30）	60%

- ・ 禁煙・減塩等健康に関するプロジェクトの推進
- ・ 健康づくりへの意識向上に対する支援
- ・ 民間企業と連携した、健康づくり事業の実施

※17) 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

※18) 着地型観光：観光客や旅行者を受け入れる地域が、自分たちの持つ観光資源を生かして自ら企画する観光ツアーのこと。地元旅行者を呼び込み、現地でお金を使ってもらえる利点がある。

※19) インバウンド：外国人が日本を訪れる旅行のこと。減少が見込まれる国内観光需要の補完に加え、外貨の獲得や地域の雇用機会の創出などが期待できる。

※20) グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

※21) シティプロモーション：観光誘客や定住人口の増加、企業誘致等を目的に、地域の魅力を発掘して内外に発信し、地域のイメージを高め、知名度を向上させる取組のこと。